

1 趣旨

みやぎ食と農の県民条例(平成12年宮城県条例第114号)第9条の規定により、第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画の推進に向けた事業の実施状況等について、議会に報告するとともに、県民に公表するに当たり、概要を報告するもの。

2 施策の推進方向

基本項目Ⅰ 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給(豊かな食)

- 施策1 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進
- 施策2 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化
- 施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技术の活用による戦略的な農業の展開(儲ける農業)

- 施策4 みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成
- 施策5 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化
- 施策6 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化
- 施策7 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立
- 施策8 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興
- 施策9 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

基本項目Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築
(活力ある農村)

- 施策10 関係人口と共に創る活力ある農村
- 施策11 地域資源を活用した多様ななりわいの創出
- 施策12 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
- 施策13 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

3 令和4年度事業の実施状況及び令和5年度の主な取組
別添資料参照

4 報告・公表

議会への報告:9月定例会に提出予定
県民への公表:令和5年10月上旬に県Webサイトに掲載予定

第3期基本計画の概要と主な目標

キャッチフレーズ

共創力強化

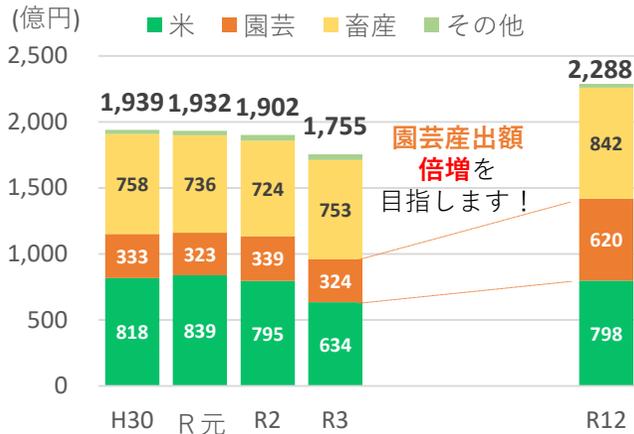
～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～

〔計画期間：令和3年度～令和12年度〕

農業・農村振興に関する主要な目標として、次の3項目を掲げています。

農業産出額

1,939億円(H30)⇒**2,288億円**(R12)

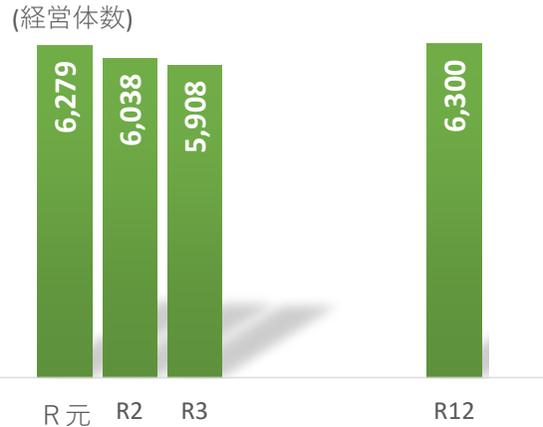


〔出典 農林水産省生産農業所得統計〕

・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で米の需要が低下し、価格が下落したほか、果樹の凍霜害等の被害から農業産出額が低下した。

認定農業者数

6,279経営体(R元)⇒**6,300経営体**(R12)

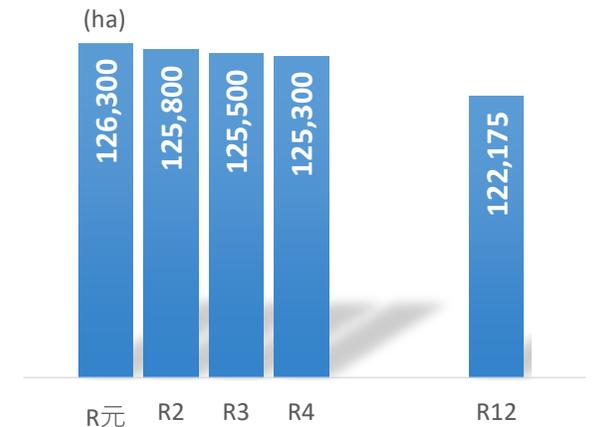


〔出典 宮城県農業振興課調べ〕

・高齢化などにより、計画更新をしない個別経営体が増えている一方で、法人経営体での認定は、増加傾向にある。

農地面積

126,300ha(R元)⇒**122,175ha**(R12)



〔出典 農林水産省作物統計調査〕

・令和4年度の農地面積は、ほぼ横ばい（前年比 200ha減）で維持されている。

令和4年度の実施による成果の総括

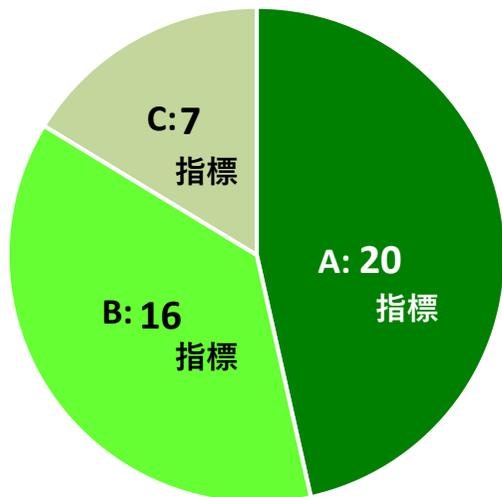
基本項目Ⅰ 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食） **（7指標）**

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業） **（24指標）**

基本項目Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村） **（12指標）**

各項目ごとに合計43個の指標を設定・進捗管理 **（計43指標）**

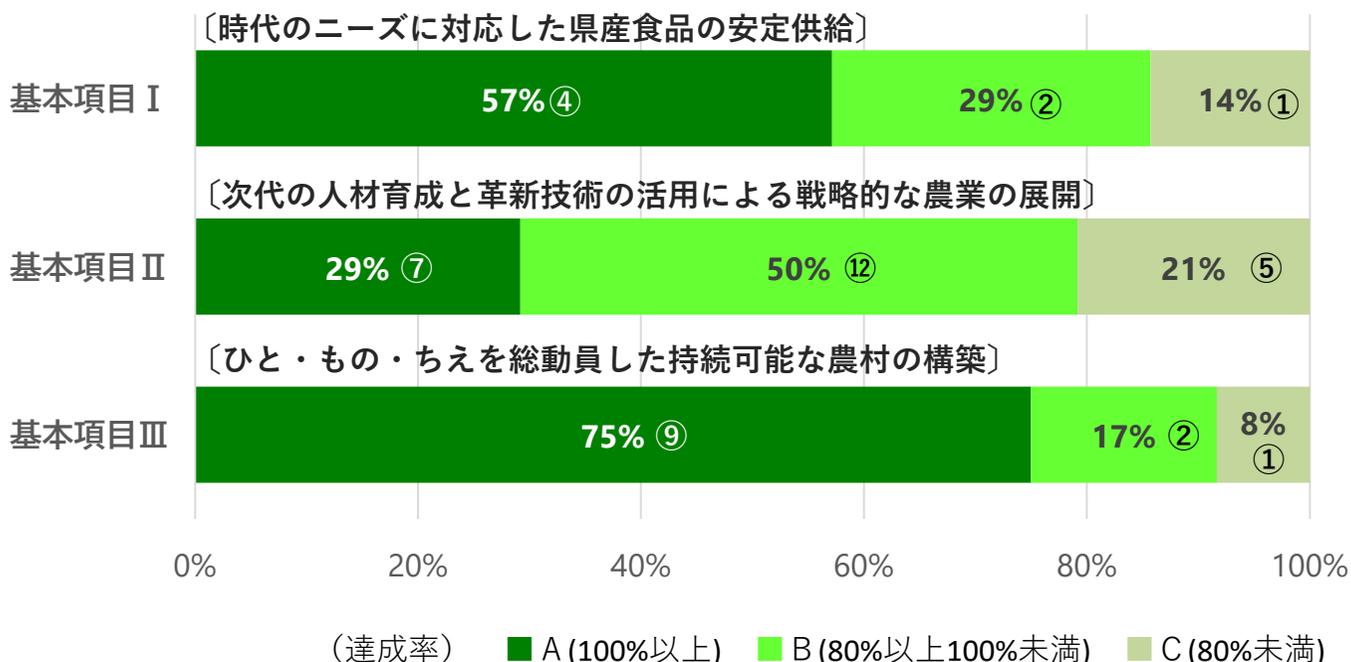
1 全体の達成状況



**36指標で80%以上の達成率
(A又はB) となった**

2 基本項目ごとの単年目標に対する達成状況

(○数字は指標の数を示す)



基本項目 I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

施策1：県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進



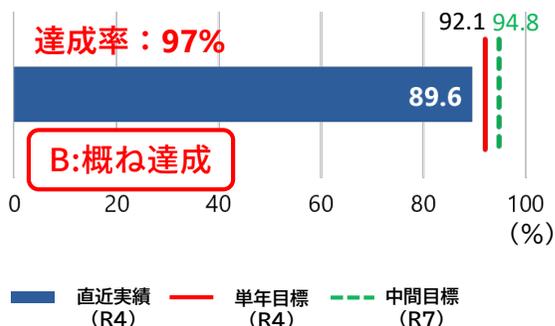
令和4年度の主な施策の実施状況

- 食と農に対する理解促進、地産地消の促進に向けて、食材王国みやぎ「伝え人」の学校等への派遣や高校生地産地消お弁当コンテスト(20校、183作品が出品)を開催し、県産食材の理解・活用促進を図った。



主な推進指標の達成状況

推進指標1 農産物を購入する時、県内産を選ぶ人の割合



令和5年度の主な取組

- 県内で生産される農林水産物に対する理解向上や消費・活用の促進を図るため、地産地消の啓発や地産地消推進店の拡大を全県的に推進する。

食育・地産地消推進事業

施策2：生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化



令和4年度の主な施策の実施状況

- 県産食材の付加価値向上に向けて、一次産品の仕入から製品の流通・販売における付加価値を高める新たな商品づくりや、山形県等と連携した展示商談会の開催等、県外バイヤーとの商談機会の創出を図った。

- 県産品販売事業者を紹介するアンテナサイト「宮城旬鮮探訪」でのPRやEC販売拡大に向けた経費補助(30社)を実施し、インターネットにおける県産品の販売拡大を支援した。



主な推進指標の達成状況

推進指標5

食品製造業の製造品出荷額



令和5年度の主な取組

- 県産食材のブランド価値向上に取り組む生産者等への支援、県産食材の実需者とのマッチング支援などにより、県産食材の付加価値と認知度向上を図る。

食材王国みやぎの「食」ブランド化推進プログラム事業

施策3：県民への安全・安心な食料の安定供給



令和4年度の主な施策の実施状況

- 国際水準GAPの実践と認証取得推進に向けて、指導員研修の開催とGAP指向農業者への個別指導を実施するとともに、農業教育機関の認証取得を支援した。



- 特定家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、高病原性鳥インフルエンザ等の伝染性疾病対策と豚熱の発生予防対策を実施した。

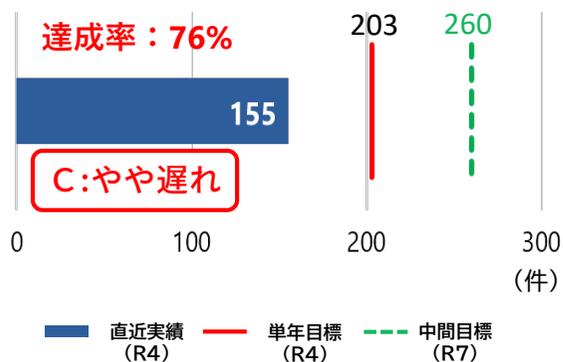


豚熱のワクチン接種

主な推進指標の達成状況

推進指標7

国際水準GAP導入・認証総数



令和5年度の主な取組

【課題と対応方針】

- ◆新たな認証取得と比べ、更新費用や事務手続の負担感等から、更新しない件数が多く、GAPの認証総数は前年より6件減少した。

- 「みやぎGAP推進アドバイザー」の活用や農業教育機関への認証更新支援等により、認証取得拡大を推進する。

GAP認証取得推進事業

- 家畜伝染病の発生予防とまん延防止、安全な畜産物の安定供給を図るため、高病原性鳥インフルエンザをはじめとする各種家畜の伝染性疾病対策を継続的に実施する。

家畜伝染病予防事業

施策4：みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成



令和4年度の主な施策の実施状況

○アグリビジネス経営体の経営の早期安定化、経営能力の向上、ビジネス展開等を図るため、(公財)みやぎ産業振興機構と連携し、ソフトとハードの両面から支援を行った。

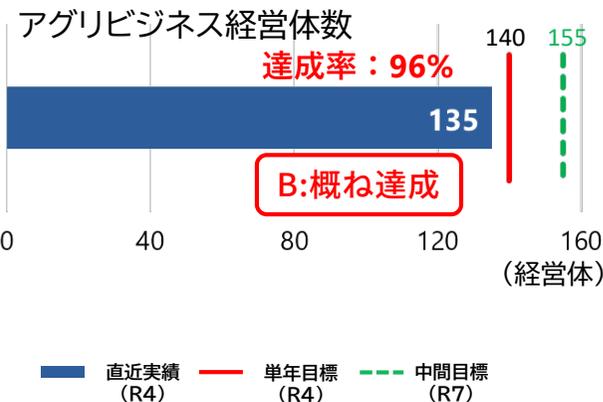
○女性の新規就農者の確保・定着に向けて、女子大学生等を対象とした農業体験ツアー（延べ113人参加）を開催したほか、女性が働きやすい就労環境の整備を支援した。



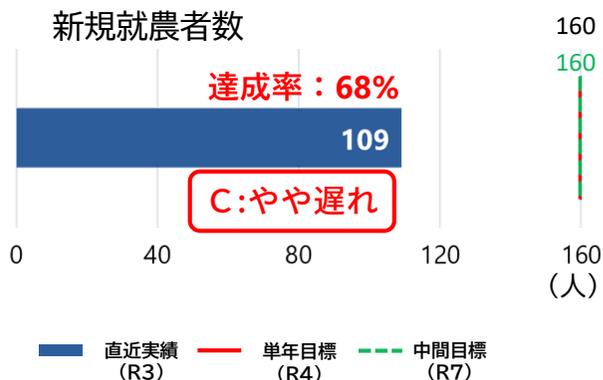
女子大学生等対象の「キラリ！農スタイル」食と農の体験ツアー

主な推進指標の達成状況

推進指標10



推進指標11



令和5年度の主な取組

○(公財)みやぎ産業振興機構と連携し、経営支援を継続するほか、大規模園芸生産法人育成のための施設整備の補助等により、地域農業を支えるアグリビジネス経営体の確保・育成を図る。

アグリビジネス経営体確保育成事業

【課題と対応方針】

◆新型コロナウイルス感染症の影響により、新規雇用を控える農業法人が増加した。

○関係機関と連携して就農相談を行うほか、令和5年度から、農活コンシェルジュを新たに配置し、就農支援を強化。また、個々のニーズに寄り添った支援体制の構築に向け、関係機関の連携を更に強化していく。

オーダーメイド型農活支援事業

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

施策5：先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化



令和4年度の主な施策の実施状況

- アグリテックの普及・拡大に向けて、ほぼ県全域を受信範囲とし、高精度に位置計測できるRTKシステムの基地局を整備した。また、アドバイザー派遣による助言や「みやぎスマート農業推進ネットワーク」会員等への情報提供により、アグリテックを通じた生産性向上や経営改善支援を行った。

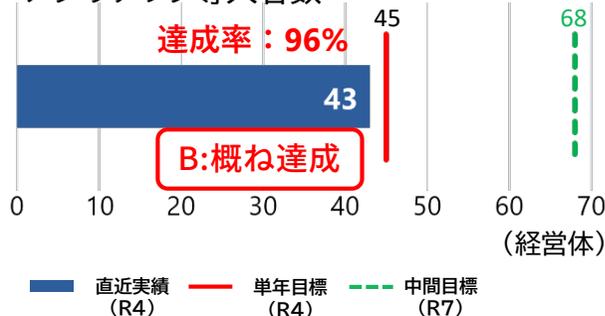


RTK基地局と自動操舵システムによる畝形成作業

主な推進指標の達成状況

推進指標15

土地利用型農業法人(80ha以上)の
アグリテック導入者数



令和5年度の主な取組

- スマート農業技術の実証事業により、実証されたスマート農業技術等を含めたアグリテックの普及拡大を図る。

アグリテック活用推進事業（農業）

- 新技術であるゲノミック評価の利用により、仙台牛等のおいしさ成分を含めた評価を行い、改良の加速化を進めると共に生産性の向上を図る。

アグリテック活用推進事業（畜産）

施策6：基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化



令和4年度の主な施策の実施状況

- 基盤整備を契機として、意欲ある担い手への農地集積・集約化を図るとともに、生産効率を高め、高収益作物の導入・拡大等を図るため、農地の大区画化・汎用化を推進した。



農地整備事業「葉坂地区」（柴田町）

主な推進指標の達成状況

推進指標17

大区画水田整備面積



令和5年度の主な取組

- 農地中間管理機構が実施する農用地を借り入れ、担い手農家等へ貸し付ける事業に対し助成することで、担い手への農地の集積・集約化を推進する。

農地中間管理事業

施策7：先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立



令和4年度の主な施策の実施状況

- 先進的施設園芸の拡大に向けて、農業法人への施設・機械等の整備を支援するとともに、栽培における環境制御等の研修会（延べ266人参加）を開催し、生産性の向上を支援した。



高度環境制御施設でのトマト栽培

- いちご100億円産地の育成に向けて、関係機関による「いちご振興協議会」を開催。新規参入者の確保や輸出等に向けた対応策の検討等を実施し、推進体制の強化を図った。

- 大規模露地園芸の振興に向け、さつまいも、ばれいしょなどの品目別会議を開催。推進体制の強化と栽培技術の向上を支援した。また、生産者、流通業者、実需者等が連携して園芸作物（枝もの用クロマツなど）の新たなサプライチェーンの構築を支援した。

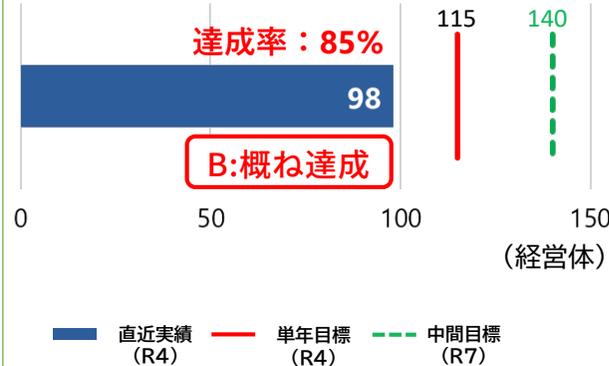


枝もの用クロマツの産地化支援

主な推進指標の達成状況

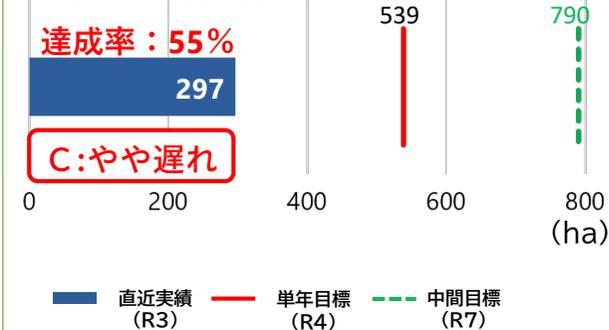
推進指標2.3

先進的園芸経営体数



推進指標2.4

加工・業務用野菜の取組面積



令和5年度の主な取組

- 園芸産出額増加に向け、農業法人に対する施設・機械等の整備に係る経費を補助するとともに、農業経営体等の早期の先進的技術習得を支援する。

みやぎの園芸法人ステージアップ事業

- いちご100億円産地の育成に向け、新規参入や輸出の拡大に向けた基盤構築等を進める。

いちご100億円産地育成推進事業

【課題と対応方針】

- ◆加工・業務用野菜について、加工用キャベツやさつまいも、ばれいしょ等の面積は増加したが、ねぎ等の品目で生産者の高齢化等により面積が減少した。

- 加工・業務用野菜の需要は増加傾向にあり、引き続き関連事業により、各産地の取組を支援する。

みやぎ大規模園芸総合推進事業

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

施策8：水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興



令和4年度の主な施策の実施状況

- みやぎ米のブランド化に向けて、「ササニシキ」60周年の新ロゴ制作の支援のほか、PR等を実施した。



令和5年産で60周年を迎えるササニシキ新ロゴマーク

- 需要に応じた米生産を推進するため、機械導入支援等により、栄養価が高い玄米ブランド「金のいぶき」等の生産拡大を支援した。
- 水田での園芸作物の生産拡大を図るため、新規作付に取り組む農業者へ生産資材費を支援した。

主な推進指標の達成状況

推進指標 2 7

水田活用による園芸作物の作付面積



令和5年度の主な取組

- 実需と連携した多収米及び「みやぎ米ブランド化戦略」に対応した「金のいぶき」「だて正夢」等の生産体制確立、販売拡大と担い手の経営安定を図る。

実需対応型みやぎ米普及事業

- 主食用米から園芸作物への作付転換を推進するほか、アグリテックを活用した大規模露地園芸への誘導を図る。

水田における園芸作物転換拡大事業

施策9：生産基盤の拡大による畜産の競争力強化



令和4年度の主な施策の実施状況

- 本県の和牛振興を図るため、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会(令和4年10月開催)に向けた出品対策を行った。



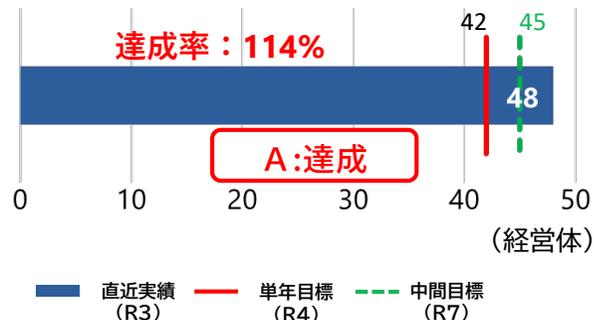
第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会

- 自給飼料の生産拡大を進めるため、飼料用トウモロコシや発酵粗飼料用イネの展示ほ等を通じた水田飼料作物の普及拡大、牧草地の更新に係る資材購入経費の補助等により、飼料作物の生産性向上を支援した。

主な推進指標の達成状況

推進指標 3 0

大規模肉用牛経営体数



令和5年度の主な取組

- 中小規模の採卵養鶏・養豚経営体が取り組む労働生産性向上や食品産業との連携強化を支援する。

多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業

基本項目Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

施策10：関係人口と共に創る活力ある農村



令和4年度の主な施策の実施状況

○都市と農村の交流拡大による関係人口の創出を図るため、農山漁村交流拡大プラットフォームを活用した都市農村交流企業マッチング等（23人参加）を支援した。

○住みたくなる農山漁村の実現に向けて、1つのモデル地区で、IoT等ネットワークの活用など、デジタル技術を活用した農山漁村デザイン策定等の取組を支援した。

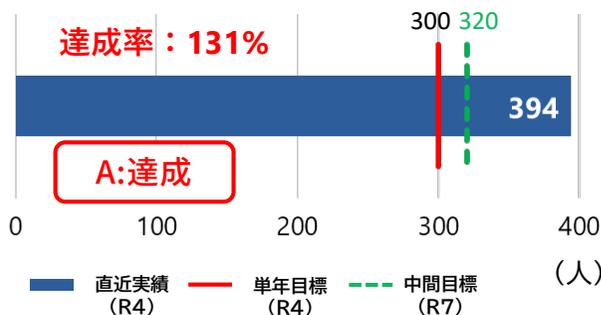


都市と農村の交流拡大に向けた農作業体験

主な推進指標の達成状況

推進指標3.3

都市と農村の交流活動事業に参加した人数（関係人口）



令和5年度の主な取組

○農村に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図るため、農山漁村と都市の交流を一層拡大し、より深い地域との関わりに繋がる「新たな地域滞在型交流」を促進する。

シン・令和のむらづくり推進事業

施策11：地域資源を活用した多様ななりわいの創出



令和4年度の主な施策の実施状況

○農山漁村における所得の増大、雇用機会の確保を図るため、6次産業化事業者等へECサイト等の販路拡大や事業見直し等、売上向上に向けた支援を実施した。

○持続可能な農山漁村の構築を図るため、地域資源を活用したペアリング商品の開発支援や産地見学バスツアー等を実施。地域資源を活用したビジネス創出を支援した。

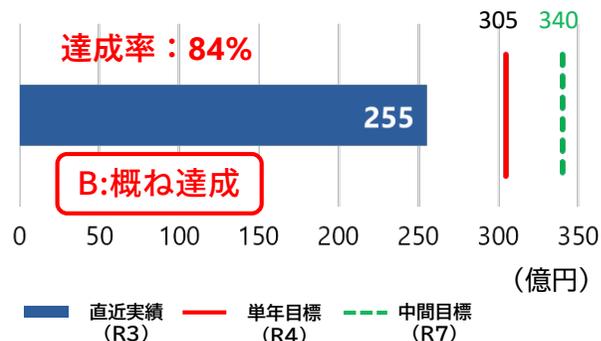


地域資源のペアリングによる商品開発

主な推進指標の達成状況

推進指標3.4

農業生産関連事業の年間総販売額



令和5年度の主な取組

○農山漁村の地域資源を活用した移住者等の「新しい発想のビジネス」や、6次産業化事業者等の新商品開発等を支援するほか、活動拠点である「農産物直売所」の機能強化を推進する。

地域資源・キャリア人材フル活用事業

施策12：環境と調和した持続可能な農業・農村づくり



令和4年度の主な施策の実施状況

○持続可能な食料システムの実現に向けて2030年の農業・食品産業が目指す姿をまとめた「宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョン」を策定。環境負荷低減と省力化を取り入れた栽培技術の検証・定着を支援した。



宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョン

○効果的な鳥獣被害防止対策を推進するため、鳥獣被害防止総合対策交付金を30の市町村・協議会へ交付し、野生鳥獣の捕獲活動や侵入防止柵の設置等を支援した。

主な推進指標の達成状況

推進指標36

農村環境保全等の共同活動に参加した人数



推進指標38

野生鳥獣による農作物被害額

※削減目標



令和5年度の主な取組

○「環境に優しい栽培技術」と「省力化に資する先端技術」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を推進するため、産地に適した栽培技術を検証し定着を図る。

グリーンな栽培体系への
転換サポート事業

【課題と対応方針】

◆野生鳥獣による被害額は前年比約1,000万円減の約1億6千万円となったものの目標達成には至らなかった。

○被害の削減に向け関係自治体等と連携し、侵入防止柵の整備や加害個体群の捕獲等の取組を支援していく。

鳥獣害防止対策事業

施策13：農業・農村の強靱化による地域防災力の強化



令和4年度の主な施策の実施状況

○洪水被害を緩和する「田んぼダム」の取組を拡大するため、「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」の運営を支援し、県内市町村、土地改良区等への取組の普及・啓発活動を行い、県内全域へ展開するためのネットワークを構築した。



田んぼダムの理解促進に向けた出前講座

○令和元年東日本台風災害からの早期の営農再開を図るため、被災した丸森町等の農地や農業用施設の復旧事業を実施し、約7割で営農を再開した。

主な推進指標の達成状況

推進指標4.1

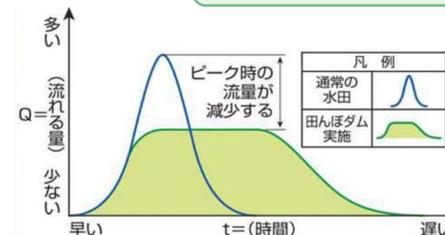
田んぼダムを導入した面積



令和5年度の主な取組

○「田んぼダム」の取組面積の更なる拡大に向けて、効果検証を実施し、効果の見える化を進める。

田んぼダム導入促進・効果検証モデル事業



○防災重点農業用ため池の決壊による、下流域への被害を防止するため、地震・豪雨評価及び劣化度状況評価を行うほか、雨量計や水位計等の観測機器の設置等の整備を行う。

防災重点農業用ため池緊急整備事業

基本項目Ⅰ 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

推進指標名	単位	直近実績 (R4)	単年目標 (R4)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	単年目標 達成率
1 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進						
①農産物を購入する時、県内産を選ぶ人の割合	%	89.6	92.1	94.8	99.3	97.3%
②県産食材を使用した郷土料理を 年10回以上提供している学校給食施設の割合	%	95.0	93.2	95.0	95.0	101.9%
③食材王国みやぎ地産地消推進店登録数	店	524	446	530	640	117.5%
④農産物直売所販売額	億円	126	125	140	170	100.8%
2 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化						
⑤食品製造業の製造品出荷額	億円	※ 6,792	6,700	7,000	7,600	101.4%
⑥食品製造業の付加価値額	億円	※ 2,200	2,400	2,550	2,850	91.7%
3 県民への安全・安心な食料の安定供給						
⑦国際水準GAP導入・認証総数	件	155	203	260	340	76.4%

※統計調査の調査期間及び公表時期の関係上、直近の確報値であるR3年実績を記載（以降同様）

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

推進指標名	単位	直近実績 (R4)	単年目標 (R4)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	単年目標 達成率
4 みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成						
⑧認定農業者数	経営体	※ 5,908	6,300	6,300	6,300	93.8%
⑨農業法人数	経営体	770	790	880	1,000	97.5%
⑩アグリビジネス経営体数	経営体	135	140	155	180	96.4%
⑪新規就農者数	人	※ 109	160	160	160	68.1%
⑫異業種企業又は県外農業法人の県内への 農業参入数	件数	76	78	96	120	97.4%
⑬家族経営協定数	件数	※ 774	750	770	800	103.2%
5 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化						
⑭高度環境制御機器設置面積	ha	45.1	42	50	80	107.4%
⑮土地利用型農業法人（80ha以上）の アグリテック導入者数	経営体	43	45	68	80	95.6%
⑯普及に移す技術の開発件数	件数	51	46	80	135	110.9%
6 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化						
⑰大区画水田整備面積	ha	36,257	36,442	37,500	39,300	99.5%
⑱汎用化水田の面積	ha	79,708	79,941	81,100	83,100	99.7%
⑲野菜等の高収益作物を導入する新規地区数	地区数	18	19	30	60	94.7%
⑳耕地利用率	%	※ 90.4	90.0	90.0	90.0	100.4%
㉑担い手への農地集積率	%	※ 61.8	86.0	90.0	90.0	71.9%

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

推進指標名	単位	直近実績 (R4)	単年目標 (R4)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	単年目標 達成率
7 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立						
②園芸施設設置面積	ha	※ 1,079	1,073	1,100	1,250	100.6%
③先進的園芸経営体数	経営体	98	115	140	170	85.2%
④加工・業務用野菜の取組面積	ha	※ 297	539	790	1,240	55.1%
⑤集出荷調製施設導入産地数	産地	12	4	10	20	300.0%
⑥園芸関係企業の参入数	件	4	7	15	25	57.1%
8 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興						
⑦水田活用による園芸作物の作付面積	ha	3,422	3,820	4,247	5,177	89.6%
⑧水稲直播栽培面積	ha	3,518	4,300	5,300	7,000	81.8%
⑨大豆の10a当たり収量	kg	133	153	170	200	86.9%
9 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化						
⑩大規模肉用牛経営体数	経営体	※ 48	42	45	60	114.3%
⑪県有種雄牛産子の子牛市場上場頭数割合	%	41.4	52.0	55.0	60.0	79.6%

基本項目Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

推進指標名	単位	直近実績 (R4)	単年目標 (R4)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	単年目標 達成率
1 0 関係人口と共に創る活力ある農村						
②農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数	団体	67	40	55	80	167.5%
③都市と農村の交流活動事業に参加した人数	人	394	300	320	400	131.3%
1 1 地域資源を活用した多様ななりわいの創出						
③④農業生産関連事業の年間総販売額	億円	※ 255	305	340	400	83.6%
③⑤地域の課題解決等に取り組む活動組織の形成数	組織	114	109	125	150	104.6%
1 2 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり						
③⑥農村環境保全等の協働活動に参加した人数	人	62,507	62,500	68,500	78,500	100.0%
③⑦日本型直接支払制度取組面積	ha	76,291	74,700	73,900	72,700	102.1%
③⑧野生鳥獣による農作物被害額（※R4速報値）	千円	162,014	156,876	141,900	116,800	67.8%
1 3 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化						
③⑨地震・豪雨対策に取り組む防災重点農業用ため池数	箇所	8	8	9	35	100.0%
④⑩整備改修に取り組む湛水防除排水機場数	箇所	4	4	5	22	100.0%
④⑪田んぼダムを導入した面積	ha	230	150	330	630	153.3%
④⑫機能保全対策に取り組む基幹的な用排水機場数	箇所	4	4	10	34	100.0%
④⑬機能更新を行った農業集落排水施設数	箇所	7	8	19	36	87.5%